

## 書 評

ラリー・K・Y・NG, スチュアート・マッド編  
『人口危機、意義と対策』

Larry K. Y. NG/Stuart Mudd (ed.), *The Population Crisis, Implications and Plans for Action*, Indiana University Press, Bloomington, 1965, xii+364 pp. (paperback, \$ 2.95)

この本は、標題のとおり、世界の人口危機の事実を分析し、各分野からみたその意義と対策について書かれた各界権威の31の論文を集めたものである。人口に関するセミナーや講義の参考書とすることを目的として編集されたものであって、敗北主義を排し、希望をもたせ、世界の大問題に若い世代の関心を促がすことをねらったものである。この本をここで取り上げた理由は、(1)この本がよくその編集の目的を達して学生の生きた参考書の1つとして推せんできると、(2)日本では、一般に、世界の人口問題についての関心をもっと高まらなければならないと考えることと、(3)最も広範な「境界領域の科学」としての人口研究において、研究者もこの本から多くの課題を学び取ることができるということとである。

元ユネスコ事務局長、Sir Julian Huxley が序論を寄せ、1)人口危機の種類の局面についての現象的分析を取録した第1部と、2)種類の立場からの人口爆発の意義を扱った第2部と、3)対策論を集めた第3部とから成っている。なお、関係民間諸機関の組織と調査計画を付録していることは便利である。

第1部「人口危機」においては、(1)人口増加の事実の分析として、スタンフォード大学地理学教授、C. L. White の「地理と世界人口」と Population Reference Bureau の R. C. Cook 夫人、Annabelle Desmond の地球の人口史に関する論文との2編を取めている。(2)経済的、社会的および政治的分析として、元世界銀行総裁、現国連財政顧問、E. R. Black の1961年4月、国連経済社会理事会における講演の要旨とコーネル大学社会学教授、J. M. Stycos の「低開発地域における出生力調整の問題」とシカゴ大学社会学教授、P. M. Hauser の「世界政治の人口的局面」との3編を取録している。(3)地域別研究として、日本に親しみ深い I. B. Taeuber のアジアの人口研究、スタンフォード大学政治学教授、R. C. North の中共の人口問題、著名な寄稿家、Edgar Snow の中共、周総理との会見記、スタンフォード大学教授、R. Hilton のラオスにおける人口爆発、R. C. Cook と Mrs. K. Gulhati 共著の論文、「アフリカ、アジアおよびラオスにおける人口増加と住宅」、およびコロンビア大学社会調査研究所の L. H. Day のアメリカ出生力最近の型の研究の6つの論文を取めている。(4)資源と人口問題については、史家、A. J. Toynbee の「人と飢餓」(1963年FAO世界食糧会議における講演)、FAOの「食糧供給と人口」、FAO上記の会議における C. S. Christian の「土地と水との利用と乱用」、アメリカ資源研究所総裁 W. Taylor Thom, Jr. の「世界資源の建設的利用」の4編を取録している。

第2部「人口爆発の意義」においては、(1)生物学的および心理学的意義として、元 Population Council 理事、故 W. O. Nelson の出生力の生物学的調整に関する研究、Planned Parenthood/World Population 総裁、A. F. Guttmacher の不妊の研究、加州大学サイカイアトリー教授、J. M. Kummer の妊娠中絶の研究の3編を集め、(2)優生学、遺伝学的意義としては、Population Council 前総裁、F. Osborn とインディアナ大学動物学名誉教授 H. J. Muller との2論文を取め、(3)公衆衛生については、ハーバード大学公衆衛生学部名誉教授 J. E. Gordon および同大学 H. Elkington 共著の「人口過剰の世界における公衆衛生」を掲げ、(4)文化については、ペンシルヴァニア州計画院の元常任理事、H. B. Van Loon の「人口、空間および文化」とイギリスの文学評論家、F. L. Lucas の評論とを取めている。

第3部「対策」においては、WHOの前事務局長、B. Chisholm の「新しい問題の問題点」、国連総会1962年12月の人口増加と経済開発に関する決議、米國務省の国際機関局次長、R. N. Gardner の人口政策と国際協力、A. Desmond のアジア人口会議の記録、A. F. Guttmacher の世界の家族計画の報告、Pathfinder Fund 総裁、C. J. Gamble の受胎調節指導機関論、1963年第23回 American Assembly の最終報告の7編を取録している。

最後に、この本を贈られたアメリカン・フレンズ奉仕団の厚意に深く感謝の意を表する。

(縮 穂)